

無理なくできる健康づくり

健康フェスタ2015



スロークレピングを楽しむ家族連れ

健康づくりと生活習慣を見直すきっかけにしておらうと「健康フェスタ2015」が10月25日、市民スポーツ公園・市民体育館で開催され、約2100人が来場しました。

同フェスタは市の主催で、昨年に続いて今年で2回目。中央広場グラウンド、体育館の3カ所に分かれ、さまざまなイベントが催されました。

参加者たちは、中央広場で行われたオープニングのラジョオ体操でしっかりと体をほぐした後、それぞれの会場へ。



玉入れで京都ギネス記録に挑戦する参加者たち



ミニ電車に乗る親子連れ

グラウンドでは、スロークレピングやグラウンドゴルフなどのニュースポーツ体験が行われ、子どもから高齢者までの幅広い世代の人たちが、無理なくできるスポーツを楽しんでいました。

体育館では、玉入れで京都ギネス記録に挑戦や健康チェック、ピラティス体験教室など、さまざまなイベントを実施。参加者たちは、家族や友達と楽しみながら、健康や体力の状態を確認したり、ウォーキング教室などで気軽にできる運動法を学んだりしていました。

ずいきみこしを担いで練り歩く担ぎ手たち



勇壮 ずいきみこし巡行

収穫への感謝と五穀豊穡を祈る御園神社秋祭りが10月11日、上奈良地区で行われ、地域住民らが「ずいきみこし」を担いで区内を巡行しました。

みこしは、毎年、区内の老人クラブ「御園クラブ」がサトイモの茎（ズイキ）で屋根をふき、トウガラシやミョウガなど、今年収穫された約30種類の野菜で飾り付けています。

出発地となる上奈良公会堂には、法被姿の子どもや担ぎ手たちが集結。みこしを担いで区内を巡行した後、高張り

提灯を先頭に同神社へと向かいました。

境内では、はじめに氏子らの「いっぺん笑えー」などの掛け声で、地域住民らが「ワハハ」と「三笑」。その後、中世の芸能である天狗面をつけた子どもによる「王の舞」、若者2人による「獅子舞」を奉納しました。

最後は、みこしを担いだ担ぎ手たちが同神社の参道を往復。みこしに飾られた野菜を揺らしながら威勢よく練り歩き、地域住民らはその様子にこやかに見守っていました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

スポーツで 楽しくふれあう

障がい者スポーツの振興と、障がい者を含むたくさんの市民のふれあいを深めようと、「第37回八幡市障がい者スポーツ大会」が10月17日、市民体育館で開催され、202人の参加者がさまざまな競技を楽しみました。

同大会は市の主催で、市内のボランティア団体に協力を呼びかけて毎年行われています。

参加者たちは紅白の2チームに分かれ、「ボールリレー」

や「紅白綱引き」、「パン食い競走」など、7種目に挑戦。

「風船運び競争」では、二人一組で風船をお互いのほおや、うちわで挟んで走る参加者たち。風船を落とさないようにしっかりと寄り添い、勢いよくゴールを駆け抜けていました。

最終種目は、「紅白玉入れ」。参加者たちは、競技を楽しみながらも勝利を目指し、かごをめがけて次々と玉を投げ込んでいました。



ボールリレーをする参加者たち

小学生剣士 全国大会で3位入賞

9月20日に大阪府で行われた第10回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に、橋本小学校の下山真由さんと、さくら小学校の河原凌くんが京都府代表チーム5人の一員として出場し、3位入賞を果たしました。

下山さんが次鋒、河原くんが副将を務めた京都は、3チームでの予選リーグを勝ち上がると、決勝トーナメント1回戦でベスト16常連の愛知と対戦。

動きが素早く、間合いを詰めてくる相手に対し、下山さんは左右に動きながら、隙を見逃さず左手で一本を奪って勝利。河原くんも攻撃をさげながら打てる時は打ち、粘りの戦いで引き分けに持ち込んで、チームの勝利に貢献しました。

続く準々決勝の福島戦でも、勢いそのままにチームは勝利をおさめ、見事に3位入賞を決めました。

大会を終えて、「初めての京都府代表で3位になって、うれしかったです。他の大会でも入賞できるように頑張りたいです」と下山さん。河原くんは「中学でも京都府代表になって、優勝を目指したいです」と笑顔で話していました。



隙見逃さず一本

粘って勝利に貢献

メダルを手に笑顔の下山さんと河原くん